



成長する農業法人のデータ活用人材育成プログラム

テラスマイルの RightARM（ライトアーム）



このような課題はありませんか？

- ✓ データは取っているけど、活用できていない…
- ✓ **社員がデータを活用して、自律的に成長する文化を作りたい**
- ✓ **農業者が、データを活用して稼ぐ産地を県内に作りたい**
- ✓ データを活用した見える化・傾向予測・要因分析を行いたい

RightARM（農業経営者の右腕）は
**農業経営者の抱えるお悩み解決を
データ活用の観点から支援します**

STEP 1



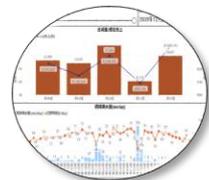
経営者とのアドバイザ
イザー契約

STEP 2



人材育成ワーク
ショップを実施

STEP 3



補助金等を活用した
システムの提供

主なサービス内容

- 圃場ごとの現状を把握し、**売上・反収を増加**
- **クラウド上で入力できる栽培管理シート**
- 労働見える化ツールで**農作業効率アップ**
- データに基づく経営判断を行うための**勉強会**
- グループ共有機能を使って**チームで成長**
- 様々な角度から**圃場・ハウスの状況**見える化

【自治体・JA向けサービス】 担い手指導のデジタル化「RightARM for Ex」

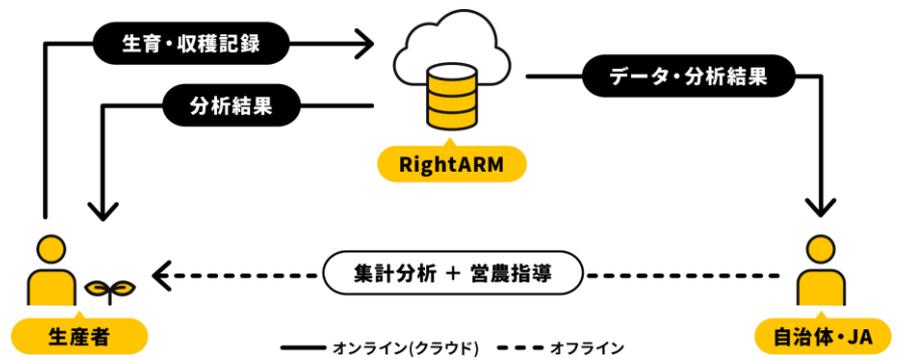
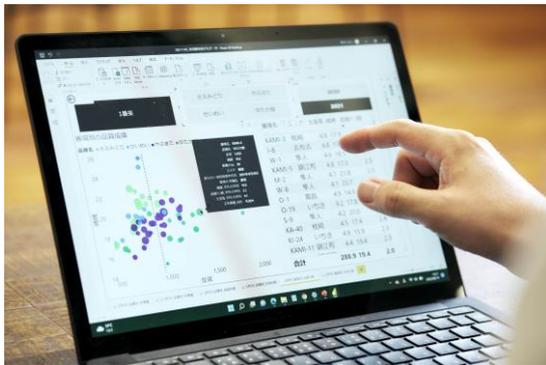
生産者の営農記録やセンサーの情報および気象情報等を簡単に集約化・見える化することで、自治体・JAの指導員等が効率的にデータを使った営農指導が出来るようになります。

■Right ARM for Ex でできること（一例）

- ・ 指導方法・評価基準のマニュアル化により、若手指導員を育成し、営農指導を高度化。
- ・ 営農関連システムデータを自動集計しグラフや表の出力が可能。資料作成の時間を大幅に削減。
- ・ 複数生産者のデータを蓄積し、農業経営指標(営農マニュアル)を低コストで作成可能。

RightARM for Ex は、生産者と伴走者（自治体・JA）がデータという共通言語を介し、ともに産地形成。産地発展を目指すためのサービスです。

Outputの一例



弊社を活用いただいているお客様の声



部会メンバー15人の 反収が平均で20%増加

栽培品目：ピーマン
作付面積：40a
従業員：5～10人



社員との認識共有や 人材育成に活用

栽培品目：お茶
作付面積：300ha
従業員：50～100人



スマート農業の データ基盤を導入

栽培品目：ダイコン他
作付面積：120ha
従業員：30～50人

近年の外部評価



JAアクセラレータ
第2期 採択
(JAグループ)
2020年



燦めくオンリーワン
企業 2022年版 掲載
(図書出版 浪速社)
2022年



開発奨励賞
受賞
(農業情報学会)
2022年

サービスの特長

✓ 自動的にデータを収集

環境センサー、気象、市況などの農業を取り巻くデータは可能な限り自動で収集しますので、生産者には生育記録と収穫実績のみ入力いただきます。



✓ 戦略的にデータを活用

取り入れた農業関連データは、分析基盤でデータ整形します。
これまでの弊社農業コンサルの経験に基づく独自の切り口を提供します。



✓ 分かりやすく見せる

農業経営者は分かりやすいグラフや表で、随時最新情報の確認が可能ですので、自分でグラフを作成することなく所得向上のための打ち手を検討できます。



FAQ

Q. RightARMのサービス範囲はどこまでですか？また、範囲外はありますか？

A. 農業経営判断をサポートするための見える化を行います。判断は農業経営者となりますが、オプション対応でコンサルティングも行っています。

Q. どのような品目での活用が多いですか？

A. 露地野菜、施設園芸、お茶、果樹、水稻での実績があります
現在は、自治体を中心に30カ所以上で取り組みを行っています。

Q. 利用者の作付規模はどのくらいですか？

A. 1 農業法人の場合は大規模生産者（年間販売額50百万円以上）が多くなっています。そのほか、チームで成長を目指す複数人での利用（部会や産地、JA様単位での導入）も多くみられます。

Q. 途中で解約する場合はどうなりますか？

A. 利用は一月単位から可能です。途中解約の違約金はありません。
※自治体やJAでの導入は別サービス/年間契約)

Q. 運用面でも継続的にサポートを依頼できますか？

A. サービスを利用した目標設定～進捗管理～振り返りまで各種サポートをさせていただきます。



お気軽にご相談！！
農業経営ワーク
ショップやデータ活
用研修もご用命対応
いたします。



スマート農業時代の 農業経営者を支援する

デジタルと現場とを融合させた

「農業情報基盤」で、農業経営を加速させます。

テラスマイルについて

社名	テラスマイル株式会社 (TERRACE MILE, Inc.)
設立	2014年4月
代表取締役	生駒 祐一
事業内容	農業経営でデータを活用する仕組み(分析基盤)の提供と人材の育成
各県での データ活用 人材研修実績	北海道、岩手、秋田、山形、茨城、群馬、埼玉、千葉、富山、石川、福井、山梨、静岡、愛知、三重、大阪、兵庫、和歌山、岡山、広島、徳島、愛媛、福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島
主な行政 プロジェクト 実績	<ul style="list-style-type: none">人工知能未来農業創造プロジェクト、アグリビジネス創出事業スマート農業実証プロジェクト(施設園芸・露地野菜・茶)農業支援サービス育成対策、産地形成事業みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業(産地と川下企業とのデータ連携)
主な研修・ ワークショップ 実績	<ul style="list-style-type: none">スマート農業塾(アグリコネクト)、農業講座(アグリ・フューチャー・ジャパン、アグリイノベーション大学校)、東京農業大学 農業MBA、JAグループJA営農指導員研修などJA宮崎経済連、鹿児島堀口製茶、大崎農園、松本農園、JAとなみ野、JA全中など
その他 社会活動	日本農業新聞メディア委員、農業改良普及事業 有識者委員、農研機構 農機APIコンソーシアム評価委員、WAGRIアドバイザーボード
主要株主	JAグループ、ヤンマーベンチャーズ、FutureFoodFund(オイシックス・セブンアンドアイホールディングス等)、K4Ventures(関西電力)、イチネンホールディングス、誠和、ラック、エムスクエア・ラボなど

テラスマイル株式会社

☎ 0985-65-9196 (受付：平日9:00～18:00)

(本社)

〒880-0001

宮崎県宮崎市橘通西1-5-30-207

(拠点)

東京拠点/静岡拠点/大阪拠点/福岡拠点

E-Mail. : company@terasuma.jp

URL : <https://terracemile.jp/>

